

テーマ:

# 実もこころも大きくな～れ！ いいことぶどう組

神奈川県  
小学館アカデミー  
むさしんじょう第2保育園  
篠 先生・定野先生



## この活動の特徴



### 「凜々子」活用のポイント①

子どもたちの自発的な学びを尊重した  
栽培活動

### 「凜々子」活用のポイント②

他の品種も育て、調理して食べてみて  
色の濃さや味の違いも体験

## 活動のねらい



- トマトの成過程を図鑑などで調べ、成長を楽しむ
- 収穫した喜びを味わい、食べ物に感謝する
- 収穫したトマトを調理し、品種の違うトマトとの違いを知る

## 活動の概要と流れ

対象学年：4歳児（11名）

実践期間：5～8月

| 時期 | 学習活動   |
|----|--|
| 5月 | プランターに苗を定植<br>それぞれの苗に名前を付けて観察開始  |
| 6月 | 「かんさつまとめシート」を記入<br>子どもたちがじょうろで毎日水やりと観察<br>成長に合わせて、支柱立てなどを図鑑で調べて実施<br>尻ぐされ症は「凜々子栽培ガイドブック」を参考にして対処 |
| 7月 | 収穫した凜々子と市販の桃太郎の実の特徴を観察<br>他のトマトと別々にピザソースに加工して手作りピザを作り、食べ比べる                                      |
| 8月 | 凜々子を冷凍保存。トマトジャムを作り試食   |



## ここがポイント！ 取組の工夫と実践の成果

### 凜々子と桃太郎の違いを知 るために同時に栽培

4歳児のぶどう組は11人のクラスです。野菜が苦手な子もいて、給食がなかなか食べ終わらないこともあります。そこで、自分で育てた野菜なら食べられるようになるかもしれないと思い立ち、凜々子の栽培にチャレンジしました。

凜々子の苗は2人で1本を植えました。みんなそれぞれ好きな名前を付けて、いよいよ観察のスタートです。子どもたちから、「凜々子はいつも食べているトマトとどこが違うのか？」という質問が出たので、先生が「桃太郎」を育てて比べてみることにしました。

### 「なぜ？」「どうして？」の 疑問は自分たちで調べて解決

毎日、交代で重いじょうろを抱えて凜々子に水やりをしました。慣れてくるころには観察もきめ細かくできるようになり、「葉っぱが増えた」「お花が咲いた」など子どもたちの気づきや発見に育てることの楽しさが何えました。また、お友達の苗も気になるようで「こっちの葉っぱが大きい」「たまごちゃん(凜々子に付けた名前)が大きくならないから心配」など、会話やお友達との関わりも増えてきました。

凜々子が成長すると、なんだか葉っぱが垂れてしょんぼりしたよ

うに見えたことから、心配になった子どもたちは図鑑を取り出してどうしたらいいかを調べました。図鑑の苗の横に棒が立ててあることに気づき、「棒を立てればいいんだ」とさっそく木の枝を支柱にしました。この頃から疑問があると自主的に図鑑で調べる様子が見受けられるようになりました。



### 作って、食べて納得したトマ トの違い

収穫した凜々子と桃太郎を観察したかったのですが、残念ながら桃太郎は病気になってしまったので、スーパーで買ってきて皮の硬さや実の大きさ、赤色の濃さを比較しました。両方のトマトでそれぞれピザソースを作り、ピザにしました。2種類のピザソースの味や色の違いを確かめ、繊細な味わいや見た目の違いにも気づくことができる子どもたちの成長ぶりに驚かされました。食べきれなかったトマトは冷凍保存し、トマトジャムにしてパンにはさんで食べました。

### 先生から一言！ 実践を通して

凜々子の栽培活動を通して、子どもたちの成長ぶりが想像以上でした。それまでは何かと中途半端になってしまうことや、自分の考えを優先して行動してしまう子が多くいました。ですが、凜々子に自分たちで名前をつけて栽培を始めると、「自分の「りりこ」という意識が芽生え始めたのか、責任感が見られ、進んで行動するようになりました。お友達の凜々子も心配し、わからないことはみんなで調べて伝え合うといったことを繰り返すうちに、クラスにまとまりも見られるようになりました。栽培の後の畑の片づけまで自分たちで行い、やりとげた満足感を感じているようでした。野菜を育てる楽しさを知った子どもたちは、トマト以外の野菜にも興味を持ち始め、給食でも食材の話が出てくるようになりました。次は何を育てようかと楽しみにしています。



### 受賞理由

凜々子に名前を付けて、親近感をもって観察するアイデアで4歳児の栽培の楽しさを倍増させました。疑問やトラブルは子どもたちが自主的に図鑑で調べて解決する様子に、ハラハラしながら温かく見守る先生たちの様子が目に浮かびます。桃太郎との違いを栽培だけでなく調理や試食でも学んだ点に拍手！